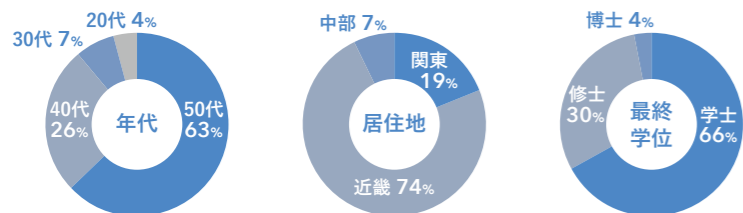


ACADEMIA INDUSTRY BRIDGE PROGRAM FOR EDUCATIONAL TRANSFORMATION

DATA

受講生データ

※データは全て2023年度の実績



Brush up Program
for professional

文部科学省 職業実践力育成 プログラム(BP)認定講座

厚生労働省 教育訓練給付制度(特定一般教育訓練)
厚生労働大臣指定講座
(指定番号 2722004-2310013-4)

本コースは厚生労働大臣指定「特定一般教育訓練給付制度」の指定講座です。一定の条件を満たした方に受講者本人が支払った受講料(教育訓練経費)の4割(12万円)が公共職業安定所から支給されます。教育訓練給付制度の受給希望者は、募集要項とともに、教育訓練給付制度(特定一般教育訓練)案内をご参照ください。

お問い合わせ

〒599-8531
大阪府堺市中区学園町1番1号 A6棟312(中百舌鳥キャンパス)
大阪公立大学 産学連携教育イノベーター育成プログラム
アントレプレナーシップ教育力育成コース事務局
大阪公立大学 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター内

☎ 072-252-6183
✉ las-jitsumuka.ep@ml.omu.ac.jp
<https://www.omu.ac.jp/las/jitsumuka/>



産学連携教育イノベーター育成プログラム
アントレプレナーシップ教育力育成コース

アントレプレナーシップ教育力育成コース

MESSAGE

誰ひとり取り残さない社会の実現にむけて、我々に今何が
できるか。高等教育機関としての大学には、真理の探究や専門
的学問を教授するという従来からの使命に加え、社会との関
わりの中で多様な知を活用し、来るべき未来社会の創造に寄
与する人材を育成し輩出することにも、多くの期待が寄せられ
ています。

このような要請に応えるため、大阪公立大学では、産業界や行
政機関と連携し、アントレプレナー精神を有し社会を変革に導
くことができる高度研究者の育成に取り組んできました。その

大阪公立大学 副学長(高度人材育成担当) 高度人材育成推進センター長 国際基幹教育機構 教授 松井 利之

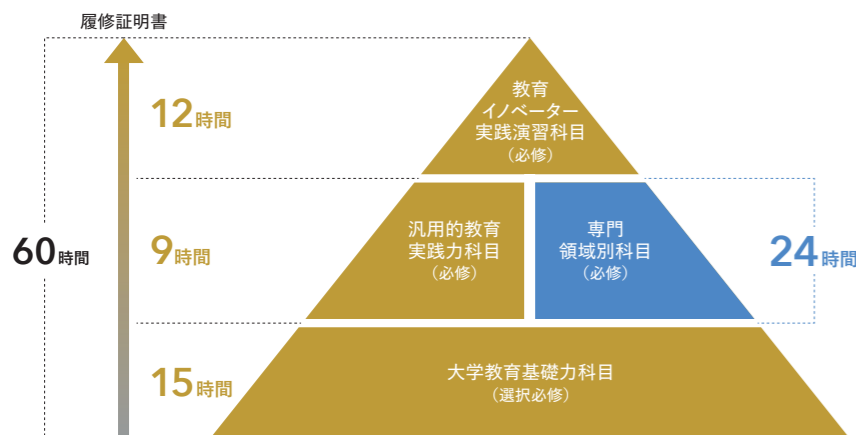
経験を活用し、次代のアントレプレナーシップ教育を担う実務
家教員の育成を目指し、「産学連携教育イノベーター育成プロ
グラム」を開講します。企業や自治体、NPOなど、社会のあらゆ
るセクターで実務経験を積んだ方が、自らの経験に基づいた実
践的な知に立脚し、大学教員や学生と共に多様な専門知を活
用して、新たな価値創造基盤の構築と人材の育成に取り組むた
めの様々な知識、経験、ノウハウを提供します。

どんな環境でもあきらめず学びを継続する。それこそが他者そ
して自らを成長させる。そんな経験を共にしてみませんか。

アントレプレナーシップ教育を担う実務家教員を目指す

「産学連携教育イノベーター育成プログラム」は、産学が連携して人材と知の循環を促進しつつ、実践的
かつ広く深い学びを追求し、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会の実現と、未来を拓く人
材を各界へ輩出するため、その中心的役割を担う実務家教員を育成することを目的としています。
アントレプレナーシップ教育力育成コースでは、起業時や企業での新規事業開始にあたり必要な基礎
知識を学ぶとともに、それらを指導・教育するための手法や技能を習得することを目的とします。本コー
スでは特に、高度な科学技術研究成果の事業化や産業化を例に、その際の考え方・プロセス、起業に必
要な基礎知識を学びます。そして、複数の事例に基づく実践的な演習に取り組むことで、技術マネジメン
トの幅広い知識とアントレプレナーとして必要な素養の修得、および、その効果的な教育手法の体得を
目指します。

プログラムの科目構成と履修構造



本プログラムは4つの科目で構成されています。まず、大
学教員としての教育基礎力(基礎的知識・スキル・態度)
をオンラインで学ぶ①「大学教育基礎力科目」(15時間)
を履修したうえで、教育方法のスキルを演習形式で学ぶ
②「汎用的教育実践力科目」(9時間)、汎用的専門性獲
得のための「専門領域別科目」(24時間)を履修します。
これらの履修をベースに、教育イノベーターとして活躍し
ていくための資質・能力を確保するための④「教育イノ
ベーター実践演習科目」(12時間)を履修します。計60時
間のプログラムを修了した際には、大阪公立大学長名に
て履修証明書が発行されます。

| | | |
|------|---|-----------------------------------|
| 応募資格 | 下記、①②の両方を満たす方。 ①大学を卒業した方又はこれと同等以上の学力があると認められた方 ②原則として専門的技術的又は管理的な職務において5年以上の実務 経験を有する方 | |
| 受講期間 | 9か月(7月から3月) | |
| 履修時間 | 60時間 | |
| 受講形態 | ①大学教育基礎力科目 | オンライン非同期 |
| | ②汎用的教育実践力科目 | オンライン同期 |
| | ③専門領域別科目 | オンライン非同期、 対面またはオンライン同期 |
| | ④教育イノベーター 実践演習科目 | オンライン非同期、オンライン同期、 対面またはオンライン同期 |

| | |
|------|---|
| 定員 | 25名 |
| 募集期間 | 2024年3月15日～4月21日 |
| 受講料 | 300,000円 |
| 対象 | 企業や地方公共団体及びその他の団体等での実務経験を有し、今後、大学など高等教育関連機関での職を目指す方、高等教育の教育研究に関心のある方等。 |
| 応募方法 | 大阪公立大学 産学連携教育イノベーター育成プログラム Webサイト(https://www.omu.ac.jp/las/jitsumuka/) から応募用紙をダウンロードし、必要事項を記載のうえ、ご応募ください。詳細は、募集要項・科目概要・日程表をご参照ください。 |

学習成果

本プログラムが育成する実務家教員
「産学連携教育イノベーター」の人材像
に必要な到達目標として、次の3つの
学習成果の獲得を掲げています。

- 1 大学教員として教育を担うための**基礎的知識・技能・態度**を身につける
- 2 **専門領域(汎用的な専門性)における教育実践力**を身につける
- 3 学びと社会を繋ぐ**実践知・学術知**往還及び学習成果のエビデンスに基づく**教育変革**を先導する「**教育イノベーター**」としての**変革力**を身につける

コースの到達目標

- 技術マネジメントの基本的な考え方を理解し、説明できる。
- 事例に基づく技術マネジメントの指導力を身につけ、実践できる。
- アントレプレナーが理解しておくべき基本的知識を理解し、説明できる。
- アントレプレナーの育成体系を理解し、それを実践できる。

プログラムの特徴

経験豊かな学内外講師陣

大学の現場を知る多彩な講師陣が、教育に
関する知識とスキルを指導します。

働きながら学べる授業体系

授業支援システム(LMS)を使用してeラーニ
ングコンテンツを配信します。対面実施の演
習はオンライン同期型での受講も可能です。

充実した学習支援体制

受講アドバイザーを配置し、メールマガジ
ン等を通じてきめ細やかな情報を提供します。

担当教員からのメッセージ

科学技術と社会の関わりが深化・複雑化
した知識基盤社会において、高等教育機
関である大学が担う役割は多様化してい
ます。このような環境の中で、高度な実務
経験に基づく実践的な知を体系化し、教
育指導、研究指導へと結びつける役割を
担う、いわゆる実務家教員への期待が高
まっています。学問領域の垣根をこえた
実社会の様々なニーズを踏まえた諸課
題に取り組む教育の実践手法などを知
る、本実務家教員育成プログラムを積極
的に活用頂ければ幸いです。

大阪公立大学
副学長(教育戦略・情報戦略担当)
高橋 哲也

実務家としての経験を生かし、大学とい
う場で自らが持つ知識や技術を学生に
伝えていきたい、そう考えておられる方
は多いでしょう。しかし、教育で大切な
のは、必ずしも、伝えることではありませ
ん。学生たちが知識や技術を我が物と
すること、それによって、学生たちが変わ
り成長していくことこそが大切なのです。
教員としてその手助けをするために必要
な知識やスキルを、本プログラムを通し
て身につけていただければ幸いです。

大阪公立大学 高等教育研究開発センター
副センター長 国際基幹教育機構 教授
星野 聡孝

産学連携教育イノベーター育成プログラ
ムでは、学習進捗のサポートをする受講
アドバイザーを配置し、学習の中での疑
問、社会人と勉学の両立、新しい分野の
学び直しに、不安な部分も、安心して取り
組んでいただけるサポート体制を整えて
います。実務経験を知識や学びにつな
げ、教育の場で活用できるよう、受講生自
身がアントレプレナーシップを発揮し、主
体的に学びに取り組み、活用すること
で、実務家教員としてのキャリアの道を
開いていただければ幸いです。

大阪公立大学
国際基幹教育機構 特任講師
山田 裕美